

原南中町内会防災マップ

中町内会自主防災会作成 令和 6 年 7 月更新

保存版



指定緊急避難場所

し て い き ん ぎ っ し ゅ う び ん ば ん じ ゃ
Designated Emergency Evacuation Area
指定緊急避難場所

避難しなくてはならない場合に備えて、避難時に持ち出す最低限のものはリュックに入れて、すぐに持ち出せる場所に用意しておきましょう



指定避難所 (指定緊急避難場所) (指定避難所、指定緊急避難場所の指定を受ける場合、指定避難所として指定される場合があります)

原南小学校
Haranami Elementary School

浸水時緊急退避施設

(高水に避難する時間がない場合、緊急避難する際の施設)

- 1 ボーソレイユ沖
- 2 ホーネット21
- 3 ダイアパレス祇園
- 4 ノワール西原
- 5 ベルクール祇園大橋
- 6 祇園長束パークマンション

防災の心得

1. 自らの命は自分で守る

適切な避難行動や避難のタイミングは、各人がおかれた状態により異なります。緊急時には、避難情報や周囲の状況等を確認し、自らの判断で適切に避難しましょう。

2. 非常持ち出し品を準備する

緊急に避難しなければならない場合に備えて、避難時に持ち出す最低限のものはリュックに入れて、すぐに持ち出せる場所に用意しておきましょう

- ☐携帯電話 ☐非常食 ☐水 ☐電池 ☐衣類
- ☐生活用品 ☐常備薬 ☐雨具 ☐現金 など



3. 早めに避難する

浸水してから立ち退き避難は危険です。降雨や河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難指示を待たずに自主的に避難を開始しましょう。

4. 隣近所に声をかける

避難する際には、隣近所に声をかけ、集団での避難を心がけましょう。



避難する場合は水路沿いを避ける！

このマップは広島市防災まちづくり基金を活用した防災まちづくり事業により作成したものです。

危険な区域を含む道路を通らざるを得ない方は、早めに避難してください。

凡例

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 緊急退避施設
- AED 設置場所
- 病院
- 薬局
- コンビニ
- 大雨時危険箇所 (H26.8, 20 道路冠水)
- 水路

災害時の避難

あなたがとるべき行動は？

近年、大雨や台風による被害が各地で発生しています。災害は、決して他人ごとではありません。「あなた」や「あなたの家族」の命に関わる問題です。災害から身を守るために、「避難」について確認しましょう。

古河市が発行する避難情報と、気象庁が発表する防災気象情報は、5段階の「警戒レベル」で発令されるよう整備されました。それぞれのレベルに応じた避難行動を確認しておきましょう。

○「警戒レベル」と避難行動

避難行動が必要な警戒レベルは、洪水浸水想定区域などの危険な区域に滞在されている方に対して、小学区単位で発令します。日頃から地域の危険性を確認しておきましょう。危険な区域にお住まいの方は、下衣を着替えて、逃げ遅れることがないように、速くとも警戒レベル4までには避難を開始しましょう。あなたの行動が周囲の避難を促し、多くの命を救うことにもなります。

避難情報

レベル1 早期警戒情報 ○ 気象状況悪化の恐れ	レベル2 大雨・洪水注意報 ● 気象状況悪化	レベル3 高齢者等避難 ● 災害の恐れあり	レベル4 避難指示 ● 災害の恐れ高い	警戒レベル5 緊急安全確保 ● 災害発生・切迫
--------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	--------------------------------------

災害への心構えを高める

危険な区域、避難場所、避難経路の確認！

避難に時間がかかる人は避難！

非常持ち出し品を持ってすぐに避難！

立退き避難が危険な場合は、安全な行動を！

公的避難所
(市が開設する避難所)

情報発信

災害に適合する指定緊急避難場所を開設

必要な指定緊急避難場所を順次追加開設

防災ポータル、防災情報メール、防災行政無線（聴覚障害者用FAX）ホームページ（ケーブルテレビ）、SNS（Twitter/Facebook）、テレビ（データ放送） 緊急メール、サイレン

★家族との連絡方法などを決めておきましょう。

災害時、最も心配になるのは家族の安否です。東日本大震災では通信回線がつながりにくくなり、安否確認に手間取るケースが多くなりました。複数の通信手段を使って連絡が取れる確率を少しでも高めるようにしましょう。

■音声・文字による連絡方法

NTT 災害伝言ダイヤル
機密・災害用伝言板、など

■ソーシャルメディア

フェイスブック・ミクシー・SNS
ツイッター・ミニブログ、など

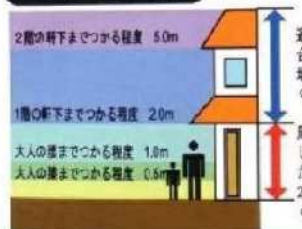
●家族の集合場所を決めておきましょう。

第1集合場所	第2集合場所	第3集合場所

集合住宅に居住の方



一戸建てに居住の方



災害時の避難のポイント

災害が発生し、家屋内にとどまるのが危険な状態になった場合は、落ち着いて素早く避難する必要があります。その際には、子どもや高齢者などの要配慮者の保護を最優先に置き、近所の一人暮らし高齢者世帯などにも声をかけるなど近隣で協力することが大切です。

自らの判断で避難行動を～危険を感じたらすぐ避難しましょう

近年、台風による大雨等により逃げ遅れた住民が被害を受けるケースが多くあります。特に突発的な集中豪雨では、市区町村の避難に関する情報が間に合わない場合もあるため、危険を感じたときには自らが判断し、避難行動をとる必要があります。

風水害では、事前に気象情報等入手することができると、正しい情報の入手が早期に避難行動をとることにつながります。

Point 特別警戒が発令されていなくても早め早めの行動をとりましょう。

■「命を守る避難行動」～立ち退き避難と屋内安全確保

大雨のときには、早めに安全な場所（緊急避難場所）へ避難する「立ち退き避難」が原則。しかしながら、夜間や急な大雨等で家の外に避難することが、かえって命に危険を及ぼしかねないときは、近隣の安全な場所への避難や、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として、室内でも逃げ遅れが懸念される2階以上のより安全な場所（部屋）へ移動し安全を確保（屋内安全確保）することが重要です。



■事前に準備を

盲点から避難場所までの安全な経路などを確認しておきましょう。

■持ち物は最小限に

荷物は背負い、両手が使えるようにしましょう。

■動きやすく安全な服装で

ヘルメットで頭部を保護しましょう。靴は履きやすかつけられる運動靴で。

■避難所では気象情報に注意を

避難所では相互に協力を。被害の状況や今後の気象状況を確認します。

■隣近所で声をかけ合って

避難は2人以上で行いましょう。隣近所を誘って集団で避難しましょう。

■車は使わない

車は数十センチの浸水で浮いてしまいます。他の避難者や緊急自動車等の迷惑にもなり、自分も危険です。

■マンホールや側溝に注意を

急激な大雨で下水管に流れ込み管内の圧力が上昇して、マンホールのふたが開いてしまう場合があります。水が逆流する、マンホールや側溝にはいってしまうと大変危険です。

■深さに注意

歩行可能な水深は約10センチ。水の流れが速い場合は20センチ程度でも危険となります。



◎原南学区指定緊急避難場所（公的避難場所）

区分	名称	電話番号	所在地	洪水地帯
A・B	原南小学校	875-4811	西原二丁目19-23	2F ○
A	原南集会所		西原二丁目2-26-3	2F ○
A・B	延福公民館	874-5181	西原一丁目1-13-25	2F ○
A・B	延福福祉センター	874-9646	西原一丁目13-26	2F ○

（開設される公的避難場所は、上記「○警戒レベル」と避難行動を参照）
※A 指定緊急避難場所・・・切迫した災害の危険から逃れるための施設・場所
※B 指定避難所（生活避難場所）・・・避難生活を送る施設
※洪水の2Fは2階以上が対応していることを示しています。
※地震の○印はその施設及び敷地が対応していることを示しています。

安全な場所までの経路を、家族や地域などで話し合い、自分たちの避難経路をあらかじめ決めておきましょう。

●我が家の防災計画